

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」塩尻校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 10日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 43
○従業員評価実施期間	2024年 10月 10日		2024年 11月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験を活かした支援やイベント開催 (資格・社会経験)	長期休みのイベントとして、ベンキョウジャーと称し、長期休み中の宿題サポートを集中的に行っている。教育現場経験者を中心としてプログラムを構成し、楽しみながらも宿題を済ますイベントは、毎回大好評でキャンセル待ちになっている。求められる声が多いため、実施日を増やして対応する時もある。通常月1回の小集団の活動については、季節感のある制作活動と認知・行動や言語・コミュニケーション等の活動を取り入れて提供している。	学習や宿題のサポートを求められることが多いことと、学習面を強みにサポートができる指導員が在職していることから、ベンキョウジャーイベントを実施している。長期休み時の開催の継続と、要望によっては実施回数を増やす等対応をしていく。
2	チームワーク	毎週児発管発信のミーティングと支援の情報共有のすり合わせを実施している。机の配置を工夫し、顔を合わせて意見が交わしやすい雰囲気作りに努めている。コンスタントに情報共有や意見交換を行うことで、共通認識を持つことができ、統一した支援の提供を行うことができている。朝礼時に個々の予定を伝え、全体で予定の把握を行うことによりサポートし合う体制が築けている。欠席等支援数にかかわる情報の共有もPC上と口頭で行うことで、追加振替の打診をスムーズに行うことができている。	働きやすい、意見を交わしやすい、環境作りや関係作りを向上させるために、ミーティング時等を活用し、意見交換を重ねていく。チーム連携を強化するための事業所内研修を検討していく。
3	組織の一員としての意識 サービス向上への意識	朝礼時に会社の基本理念、ビジョン、価値観を全員で唱和してから業務を開始している。また月に1回施設地域における障害者虐待防止チェックリストの中の職員セルフチェックリストを実施し、自身を振り返る機会を設けている。目指すところの方向性や支援に向かう姿勢を揃えるきっかけとなっている。	朝礼時の唱和は、業務開始のスイッチとなっているため、今後も継続する。職員セルフチェックリストについても、月1回の振り返りと虐待防止に繋がるツールであるため、継続する。会社発信の情報は全員確認を欠かさず、校舎で取り入れられる活動は前向きに検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的知識の習得	現在、福祉現場経験者や教育現場経験者、保育士や心理学部を卒業した職員が在職中であり、様々な知識を持ち寄ったチーム形成であるために、児童福祉、療育への専門的知識はより向上していきたい個所である。各々の強みを活かしつつ、サービス提供の根本となる知識を伸ばし、サービスの幅を広げたり、柔軟に家族支援に対応できる力をつけていく必要性がある。	各々の知識の習得とは別に、事業所内での勉強会の開催により知識を伝達共有し合う機会を設けたり、内部外部の勉強会や研修会への積極的な参加を行う。外部の研修会への参加は多くはないので、大切にしながら、知識の習得、向上に向けて積極的な考動を行う。
2	社会人マナー 職員間のフォロー体制	新卒入社の職員もいれば、中途入社の職員もおり、経験も様々である。各職員の長所を活かしながら、新卒者のみならず全職員へ更なるフォロー体制の継続を図る。サービス提供であることから、こどもはもちろんのこと、保護者や関係機関者との円滑な関係を築くためにも丁寧なアプローチ方法を身につける必要性がある。	得意不得意に合わせながら、事前に配慮が行えることに関しては共有を行う。電話対応に関してはマニュアルの活用を行ったり、ロールプレイングを実施する等の工夫を行う。
3	環境設定・整備	教室環境については、今後もこどもたちに合わせて活用していく。ワンフロアの環境であるため、活動場所の確保や音の配慮が必要になる。こどもの組み合わせにも配慮が必要である。	環境整備に力を入れつつ、活動場所の設定は都度協議しながら調整していく。振替追加時には活動場所の確保や相性を考慮する。備品整理の時間を設け、支援スペースの確保に努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」塩尻校	公表日	2025年 2月 15日
		利用児童数	44
		回収数	43

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	17	3	0	・もう少し広いと思う。 ・少し狭いかなと思う。運動療育や集団療育は、狭いのではと感じる。 ・高校生まで受け入れているなら、小さい子とは別室にする方がいい。 ・夏休みなどで子どもが増えると少し狭いかなという印象を受ける。	・今後も教室環境の工夫に努めてまいります。時間の変更による対応も可能ですので、ご希望があればお申し付けくださいませ。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	5	・利用してみて、問題ないと思う。	・今後も支援数によっての調整を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	10	0	4	・段差が少なく同線も確保されていて、娘にも合っていると思う。 ・余計なものあまりなく、机椅子はどこにあるのかぱっと見て分かる。	・現在スロープや手すり等の設置はございませんが、段差を少なくして配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	8	0	0	・清潔感があり、それぞれ集中しやすいようにパーテーションで区切られていて良いと思う。 ・同じ部屋の中で遊びの子と勉強の子が一緒に過ごすため、うるさく集中できないことがある。	・ご迷惑をおかけしてしております。2歳から高校生までのお子様にご利用いただいているため、ご利用日時によっては集中力を欠いてしまうようなこともございます。受け入れ日時の配慮を行ってまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	4	0	0	・子どものことを否定せず、特性を理解して共感しながら支援してくれる。 ・娘の特性を母や本人と接し会話してくれ、理解して支援している。 ・その時々困りごとやニーズを支援計画の中に組み込んで支援をしてもらえて、とてもありがたい。	・ご意見ありがとうございます。知識の差については、研修会や勉強会への参加を通じて、習得してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38	1	0	4	・その時の困りごとやニーズを支援計画の中に組み込んで、支援をしてもらえていると思う。とてもありがたい。	・ご意見ありがとうございます。今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	0	0	0	・学習の理解度などを丁寧に見てくれ、指導方法なども考えてくれていていると思う。 ・本人の希望、親の希望をきいてもらい、次のステップに移行できるような計画を考えてもらっている。	・ご意見ありがとうございます。今後も意見が伝わりやすい関係作りにも、丁寧な支援を継続してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	0	0	1	・特性に合わせて、本人に必要な学習支援をして考えていると思う。	・ご意見ありがとうございます。今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	0	0	2	・計画を説明してもらった内容に沿って支援してもらえていると思う。 ・その時々困りごとやニーズを支援計画の中に組み込んで、支援をもらえていると思う。とてもありがたいと感じる。	・ご意見ありがとうございます。今後も誠実に丁寧な支援を継続させていただきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	0	0	6	・色々な形で支援をしてくれていて、良い支援方法を考えてくれている。 ・娘の変化に応じて、活動を考えてもらっていると思う。 ・突発的に起きた困りに対して柔軟に対応してもらえていると思う。	・ご意見ありがとうございます。今後も楽しいイベントを企画してまいりますので、是非ご参加ください。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	15	14	・基本的にはマンツーマンだが、たまにイベントなどでは他の子と交流しているのかなと思う。 ・娘が他の子と交流するのが苦手なため、こういう取り組みをしているか分からない。	・ご意見ありがとうございます。主に個別支援を提供させていただく事業所ではありますが、ご希望がございましたら、他機関と連携を図りながら対応してまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	0	・説明してもらい、不明な点は丁寧に説明してもらった。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	0	0	1	・丁寧な説明等対応いただいた。	・今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	3	3	14	・学習会等に参加したことがない。 ・声をかけてくれると助かる。 ・まだ研修会などの案内はもらっていないが、娘に対し「こう接したらどうか」の助言はもらっている。 ・個別の家族相談を掲示で見ても、相談させてもらったことがある。	・ご意見ありがとうございます。随時家族支援の対応に応じております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	41	1	1	0	・毎回支援の内容や学習の内容を伝えてくれている。 ・毎回フィードバック時に気になることや困りごと等を聞いてくれて、支援に組み込んでくれる。	・至らない点がありましたら、申し訳ございません。丁寧な情報提供と共有に努めてまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけてくれると助かる。 ・フィードバックの時に話している。 ・支援してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。随時相談の機会が設定可能でございます。ご希望の際はお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・以前娘のことをたくさん聞いてもらって、その時受け止めてもらい、とてもありがたかった。 ・息子が何を相談しても先生は優しいと話してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	9	22	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいがいないので分からないが、交流会等に参加したことがない。 ・特に求めていない。 ・娘が他者と関わるのが苦手なのと、私も父母と関わるのが苦手なため、もしかしたら支援を提供しているかもしれないが、参加はあまりしない。 ・今の所そのような機会はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望の際に、保護者様同士の連携が取れるように相談の場を設けております。保護者会の開催を準備中です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	3	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応してもらっている。 ・事業所内で掲示を見かけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援についてのチラシを掲示しております。日程調整を行い、随時対応可能となっております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEで相談、連絡できるのがありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接他にも、電話やメールといった電子機器を使用したやりとりが可能となっております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	5	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを中々見てない。 ・行事内容はあまり発信されている感じはしないが、SNSできらりとやりとりができ助かっている。 ・そういった通信は見たことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。きらりたよりを半年に1回以上発行しております。またブログやSNSでの発信も行ってあります。今後目に留めていただきやすいように情報発信方法の工夫を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の扱いは十分留意していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に記載された書類は鍵付書庫に保管しております。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	6	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・説明は受けていると思うが、訓練を実施しているかは分からない。 ・説明を受けた記憶がないように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、年度始めに、防災訓練計画を立て実施してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	5	0	16	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが訓練を実施しているのではと思う。 ・分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月様々な災害を想定した防災訓練を実施しております。年に2回はお子様にも参加していただく訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画のもと、教室運営をしております。また安全点検についても毎日実施をし、安心安全にご利用いただけるように配慮しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・まだそのような状況になったことがないので分からない。 ・起きたことがないので分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時には、速やかに対応するために、事業所内で確認を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	41	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・優しくサポートしてもらい、コミュニケーションもよくとれていて、先生と話しやすく安心して通えている。 ・とても楽しく、通わせてもらっている。祝日は作品を作ったり、ゲームをしたりと喜んでいる。長期休みのペンキョウジャーもとても助かる。 ・リラックスして通えていると思う。 ・好きなぬいぐるみを側に置き、子どもの安心するやり方をしてくれる。 ・私がいなくても過ごせることが増えてきているので、娘にとっては安心できる場所なのだと思う。 ・日々困ることは色々あるが子ども自身が「きらりて相談してくる」と話してくれる。人見知り強く、誰とでも話せるタイプではないのでありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。今後とも皆様へ寄り添いながら「また行きたい」と思っていたいただけるサービスの提供に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	37	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家では集中できないので、楽しみのひとつになっている。 ・メリハリのある活動内容で、学習もするが、楽しい時間もあっていつも楽しく通っている。 ・想像以上に楽しんで通ってくれていて、親としてはとても嬉しい。 ・先生達と会えること、コミュニケーションをとることを楽しみにしている。感謝。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。「楽しい」と思っただけでご利用いただき、嬉しく思います。今後もリラックスをしてご利用いただけるように、サービスの提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。 ・娘や保護者のことも考え、きらりの考えのみを押し付けることはないので、満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。サービス提供の向上を行いながら、満足してご利用いただけるように、努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」塩尻校		公表日		2025年 2月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・活動場所の設定や、パーティションを使って配慮している。	・ワンフロアであるため、今後もパーティションで区切る等し、刺激への配慮をしていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・職員の配置数によって受け入れられるこどもの人数を調整している。	・今後も、安心・安全な環境確保の為に、職員の適正配置を継続する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・パーティションで区切り、集中ができる環境作りに努めている。	・ワンフロアであるため、今後もパーティションで区切る等し、刺激への配慮をしていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	4	2	・毎日清掃分担を決め、環境整備を行っている。 ・支援後は手の空いた職員で片付けと消毒を行い、次の支援の受け入れを行うようにしている。	・使用した玩具・教材の消毒に加え、お子様の手が触れやすいところも消毒を行い清潔で心地よい空間にしていく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・特性を配慮し、対応している。利用者からの要望も受け入れている。	・今後も特性に配慮した対応をしていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	学習や宿題のサポートを求められることが多いことと、学習面を強みにサポートができる指導員が在職していることから、ベンキョウジャーイベントを実施している。長期休み時の実施の継続と、要望数によっては実施日の変更も検討している。	・ミーティング当日に公休の職員はPC上での共有になってしまうこともある。可能な限り顔を合わせて共有を行う機会を設定していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回アンケートを実施し業務改善に繋げるとともに、日々頂いた意向等は改善に取り組んでいる。	・中途入社や異動職員に対しては、個別に共有を行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・週に1回、管理者から業務や運営に関して発信するミーティングの機会を設けている。 ・月に1回、セルフチェックシートを用いたアンケートを実施し、意見を把握している。	・職員全員が顔を合わせて意見交換や共有を行う機会を設けることや、定期的に個人面談を設定していくことで、風通しの良い職場環境と安定的な業務運営に繋げていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・第三者による外部評価は実施していない。	・第三者による外部評価が実施された場合には、業務改善に繋げる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月に1回、研修会や事例検討会等に参加している。	・今後も全ての職員が継続的に研修参加していただけるよう努める。		
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0					
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・法人で作成したアセスメントシートを使用して分析を行っている。				
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・日々の支援の様子や支援者会議での検討内容等を共有し、会議を開催した上で検討を繰り返して行っている。	・職員全員がサービス提供と計画作成の流れを理解し、知識を得て、サービス提供を実施する。			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画作成後は必ず会議を開催し、共有を行った上で、支援に繋げている。	・利用者の様子や成長に合わせた期限内の計画の変更も柔軟に対応していく。			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・週に1回、利用者の様子について共有する機会にて情報共有を行い、様子の把握をしている。	・今後も適応状況の確認に努めていく。			
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・家族支援についてはチラシを掲示し、気軽に相談をしていただけるように工夫している。	・移行支援や地域支援連携についての知識の習得や向上を行い、相談時に適切に対応が行えるように努める必要がある。			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・週に1回、支援内容について職員間で検討し合っている。 ・きらりひろばや小集団の開催に向けたミーティングの機会を設けて検討している。	・入社して日の浅い職員も意見が言いやすい職場環境を整える工夫を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・各職員が得意な強みやアイデアを出し合いながら教材を作成し、支援が固定化しないように努めている。事例検討会等からのアイデアを活用できるように検討している。	・入社して日の浅い職員も意見が言いやすい職場環境を整える工夫を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別活動を主とし、集団生活に課題がある利用者に対して集団活動を行う行事への参加を促している。また、集団活動を想定した課題設定を行い、プログラムに反映している。	・集団活動を実施する曜日が固定化されがちなため、参加する利用者も同じようなメンバーになりがちである。平等にサービス提供を行う工夫を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼時にその日のスケジュールと利用者についての確認を行っている。	・今後も、情報共有や活動内容の確認を密に行い、全職員が把握していられるよう行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・終礼時に引継事項や連絡事項を伝達している。共有すべきことは記録にも残している。	・連絡事項が多い日には終礼時間が延びてしまう日もあるため、記録に残して次の日に再度確認する方法を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援記録には、支援内容の他に利用者の様子や状況を記入し、会議時に共有を行っている。	・今後も、個別支援計画に沿った支援記録を大切にを行い、今後の支援に役立てていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・利用者や保護者と話し合っで見直しを行っている。	・モニタリングのタイミングと計画更新月の把握をし、協力しながら進めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・本児に合わせながら組み合わせを行い、実施している。	・自立支援と日常生活の充実のための活動に加え、創作活動や余暇活動も取り入れている。 ・地域交流の機会の提供はあまり行っていないため、改善していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6	0	・5領域を含めた視点のプログラムを作成し、選択肢を多く用意して工夫している。	・作成したプログラムを順番通りに全て行うことが正しいことではないことの周知徹底や、こどもの自己決定による柔軟的なサービス提供が行えるように支援力を向上させる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・可能な場合は複数人で出席し、より子どもの状況を把握、周知できるようにしている。	・開催時間によっては児発管のみの出席となっているため、指導員も出席が行える工夫を行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・特に行政の保健師とは繋がりが強くあり、情報共有の機会もあるため、連携が図れている。	・きらり以外での活動の様子を見学する機会が持たないため、会議時に様子を伺う程度になっている。他事業所等への見学や訪問の機会があるとよい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・支援者会議に出席し、関係機関と情報共有をしている。支援者会議が定期的に開催されないケースの場合は、支援者会議開催の提案や企画を行うようにしている。	・学校との繋がりが薄い場合には、相談員に伝達し、共有の場を設けてもらったり、周囲から情報を得ていく工夫を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・支援者会議に出席し、関係機関と情報を共有している。	・卒業をし、次のライフステージに変わると会議に呼ばれなくなってしまうこともある。繋がりのある支援のためには積極的に関わっていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・大人の障害福祉サービス事業所等の話題があった際には、経験のある職員がエピソードを交えながら伝達するようにしている。	・まだそのような事例はないが、こどもから大人へのサービスの切り替えを気にされている保護者もいるため、児童福祉に限らず、情報提供が行える知識を習得する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・定期的に児童発達支援センター主催の研修会に参加している。	・外部の研修会への参加は、参加者が限られてしまっているため、指導員も平等に参加が行えるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・個別支援の事業所であるため、保護者からの望む声も少ない。慎重に進め、他事業所と連携を図りながら取り組んでいく。	・地域との交流を通して繋がりを増やすこともできるため、検討を行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・自立支援協議会には毎回参加している。	・主に児発管が参加しているため、指導員も参加が行えるように工夫していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・毎回支援後にその日の様子を伝え、保護者からも家庭での様子を伺っている。また家族支援を適時行い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持つようにしている。	・今後も情報共有を行い、おじさんの支援について、発達の様子を共有し、共に発達をサポートしてまいります。また、相談事がある時には速やかに対応する。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・チラシを掲示している。希望があった場合、家族支援にて支援を行っている。研修会や勉強会へ積極的に参加し、学んでいる。	・家族支援の知識の習得は継続していく。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・見学時や契約時に説明を行っている。	・児発管だけではなく、指導員も基本的な知識として身につけられるように、伝達共有していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・毎回支援後に子どもや保護者の意向を確認し、変更がある場合には情報共有を行っている。また家族支援時にも意向の確認を取り入れている。	・今後も継続して保護者様に満足いただけるように丁寧に対応していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・計画書を提示しながら、内容を説明し、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・家族相談にて家庭での様子を伺い、助言や支援への反映等を行っている。	・家族支援の知識の習得は継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・きらりひろばや小集団時には積極的に見学にお誘いし、保護者同士が会話できる雰囲気を作っている。希望がある場合は、保護者同士の連携がとれるように相談の場を設けるようにしている。配置数の関係により、きょうだい同士で支援を実施することが困難ではあるが、希望がある場合は調整を行うようにしている。	・個別に相談に応じると、同じような悩みを抱えている保護者がいることに気が付く。交流の場になるイベントの開催を検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・契約時に説明を行っている。苦情があった場合には迅速かつ丁寧に対応を行っている。	・包み隠さずに、誠実な対応を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・会報、ブログ、SNS等で情報を発信している。	・幅広く認知していただくために、再度情報発信の伝達方法を検討する。見学時や契約時に提示ができるように準備をしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・契約時にSNSへの写真のアップについて細かく聞き取りをし、取扱いに留意している。同意書に写真の取扱いについて聞き取りをした内容をメモに残し、全体周知を行っている。	・写真をアップする際には、ダブルチェックを行い、適切な対応とれているか確認し、慎重に実施する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・タブレットの活用や、LINEや広報誌にて視覚的な発信を行っている。	・個々の特性に応じた柔軟な対応が求められる。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・近隣の学校のボランティア部より、折り紙作品を受け取っている。	・地域住民を巻き込んだ行事の開催がないため、共生社会にも着目した事業運営を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルの策定と共に、月に1回防災訓練を実施している。ロールプレイングも実施し、実際の動きの確認も行っている。	・常に意識を高めて業務にあたることが求められる。今後も防災訓練時以外にも気付きがある場合には、協議の上、対応の見直しを行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・マニュアルの策定と共に、月に1回防災訓練を実施している。ロールプレイングも実施し、実際の動きの確認も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・面談時と契約時には必ず確認をし、その他随時確認を行うようにしている。	・入社して日の浅い職員には、オリエンテーション時に伝達し、職員全員が意識をしてサービス提供を行う体制を整える。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・面談時と契約時にアレルギーの有無を確認している。食事の提供は行っていない。	・入社して日の浅い職員には、オリエンテーション時に伝達し、職員全員が意識をしてサービス提供を行う体制を整える。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎日安全点検、確認を行い、事故を未然に防げるように努めている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に確認と周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0	・朝礼時にヒヤリハットの意識が保てるように声をかけている。 ・早急に時間を設け、対応策について検討している。	・各々意識を高めてサービス提供が行えるように再度周知していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修予定日には職員全員が参加できるように予定の調整を行っている。 ・月に1回セルフチェックシートを用いたアンケートを実施し、振り返りの機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・契約時に保護者へ説明を行い、個別支援計画書に記載している。	・研修等で知識を得て、必要時には適切な対応が行えるように備えておく。